

別表1 環境への負荷の自己チェックシート

1. 事業の規模

1-1. 活動規模

活動規模	単位	年	年	年
工事等の件数	件			
売上高	百万円			
従業員	人			
事務所床面積	m ²			
倉庫床面積	m ²			
資機材置場面積	m ²			
工場・作業所等床面積	m ²			
()	()			

○この表は全社を想定していますが、支店や営業所等がある場合は、表を追加して記入してください。

1-2. 建設現場等の概要及び件数

<元請工事・業務等>

工事・業務等の名称	規模(金額)	内容	環境配慮事項 (CO ₂ 排出予想量)	使用建機等	公共・民間
	件				
	百万円				
	件				
	百万円				
	件				
	百万円				
	件				
	百万円				
	件				
	百万円				

<下請工事・業務等>

工事・業務等の名称	規模(金額)	内容	環境配慮事項	使用建機等	公共・民間
	件				
	百万円				
	件				
	百万円				
	件				
	百万円				
	件				
	百万円				
	件				
	百万円				

○規模が比較的大きな建設現場(元請工事金額5,000万円以上が一つの目安)は、工事毎に記入してください。

○上記の規模以下の建設現場は、同種の工事等をまとめて名称及び件数と合計金額を記入してください。

○内容の欄には、主な工種や作業内容(例:土工、コンクリート工、水路工、舗装工、戸建住宅新築工事、工場増築工事、協同住宅設計、橋梁上部設計、測量調査)等を記入してください。

○環境配慮事項の欄には、工事の内容から必要とされる建設現場等周辺への環境配慮事項を記入してください。

また、規模が比較的大きな建設現場(元請工事金額5,000万円以上が一つの目安)は、二酸化炭素の排出予想量を記入してください。

○使用建機等の欄には、工事現場で使用する主な建設機械(建機)や設備機器等を記入してください。

○公共・民間の欄には発注元が、公共であるか民間であるかの別を記入してください。公共の場合には○を付けてください。

2. 環境への負荷の状況（取りまとめ表）

環境への負荷		単位	年	年	年
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO ₂			
	()	kg-CO ₂			
	()	kg-CO ₂			
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	再資源化量	t		
		()	t		
		最終処分量	t		
		再資源化率	%		
	産業廃棄物	再資源化量	t		
		()	t		
最終処分量		t			
再資源化率	%				
③-1 総排水量	公共用水域	m ³			
	下水道	m ³			
③-2 水使用量	上水	m ³			
	工業用水	m ³			
	地下水	m ³			
④ 化学物質使用量		kg			
		kg			
		kg			
⑤ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ			
	化石燃料	MJ			
	新エネルギー	MJ			
	その他	MJ			
⑥ 資源等使用量	資源使用量	t			
	循環資源使用量	t			
⑦ 総製品生産量または 総商品販売量	製品生産量等	t			
	環境負荷低減に資する製品等	t			

- ①温室効果ガス排出量（二酸化炭素）、②廃棄物排出量、③-1 総排水量、④化学物質使用量、⑥資源等使用量は必須項目です。
 なお、総排水量の把握が困難な場合には、③-2 水使用量が把握必須項目となります。
- 各指標の値については次頁以降の集計結果を記入してください。
- ⑦総製品生産量または総商品販売量について、「製品」は、工場・プラント等で製造された品物を意味し、「商品」は、設備工事等で設置し販売する設備機器等売買の目的物としての品物を意味します。
 したがって「商品」には、「製品」や「サービス」等も含まれます。

3. 指標毎の取りまとめ

① 温室効果ガス排出量（必須項目である二酸化炭素排出量のみ掲載）

年(年 月 ~ 年 月)

		単位	消費量 (A)	排出量 (kg-CO ₂) (A×B) or (A×B×C)	割合	排出係数 (B)	単位発熱量 (C)	
二酸化炭素排出量	購入電力	kWh				※ ^(注) (kg-CO ₂ /kWh)		
	建設現場等の購入電力	kWh				※ ^(注) (kg-CO ₂ /kWh)		
	エネルギー消費	化石燃料	灯油	L	0		0.0679 (kg-CO ₂ /MJ)	36.7 (MJ/l)
			建設現場等の灯油	L	0		0.0679 (kg-CO ₂ /MJ)	36.7 (MJ/l)
			A重油	L	0		0.0693 (kg-CO ₂ /MJ)	39.1 (MJ/l)
			都市ガス	Nm ³	0		0.0499 (kg-CO ₂ /MJ)	44.8 (MJ/Nm ³)
			液化天然ガス(LNG)	kg	0		0.0495 (kg-CO ₂ /MJ)	54.6 (MJ/kg)
			液化石油ガス(LPG)	kg	0		0.0591 (kg-CO ₂ /MJ)	50.8 (MJ/kg)
			建設現場等のLPG	kg	0		0.0591 (kg-CO ₂ /MJ)	50.8 (MJ/kg)
			ガソリン	L	0		0.0671 (kg-CO ₂ /MJ)	34.6 (MJ/l)
			建設現場等のガソリン	L	0		0.0671 (kg-CO ₂ /MJ)	34.6 (MJ/l)
			軽油	L	0		0.0686 (kg-CO ₂ /MJ)	37.7 (MJ/l)
			建設現場等の軽油	L	0		0.0686 (kg-CO ₂ /MJ)	37.7 (MJ/l)
			化石燃料 小計				0	0.00
	その他	その他	熱供給(蒸気)	MJ	0		0.057 (kg-CO ₂ /MJ)	
					0			
			その他 小計				0	
	エネルギー消費 計				0	0.00		
	産廃	その他	廃油	t	0		2920 (kg-CO ₂ /t)	
			廃プラスチック	t	0		2550 (kg-CO ₂ /t)	
廃棄物焼却処理 計					0	0.00		
その他	その他			0				
		その他 計				0	0.00	
二酸化炭素排出量合計				0	100.00			

(注) 購入電力の排出係数については、国が公表する電気事業者毎の排出係数を用いて算定してください。

※平成21年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数：

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=13319>

○ 網掛けの項目は「環境への負荷の状況(取りまとめ表)」に記載された項目になっています。

○ LPGの消費量を気体(m³)として把握している場合については「1m³=2.07kg」として換算してください。

○ 「産廃」については、自らが焼却または製品及び燃料として使用した場合に限ります。

○ 上記に該当しない項目で多量に投入しているエネルギーがある場合には、「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルver3.1」(環境省/経済産業省)を参照して、排出量を算出してください。

○ 「メタン」「一酸化二窒素」「ハイドロフルオロカーボン類」「パーフルオロカーボン類」「六フッ化硫黄」については、「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルver3.1」(環境省/経済産業省)を参照し、各々の事業者にあった集計表を作成してください。

※温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル：

<http://www.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/manual/index.html>

② 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量

年(年 月 ~ 年 月)

内訳	項目	排出量(t)		最終処分量(t)	再資源化率(%)	
		再資源化量	()			
廃棄物排出量	一般廃棄物(事務所系ごみ等)	コピー用紙				
		段ボール				
		その他の紙				
		その他の可燃ごみ				
		その他の不燃ごみ				
		一般廃棄物合計	0	0	0	0.00%
		産業廃棄物(建設副産物等)	コンクリート塊			
	As・Co塊					
	建設発生木材					
	建設汚泥					
	建設混合廃棄物					
	汚泥					
	廃プラスチック					
	金属くず					
	紙くず					
	繊維くず					
	廃油					
	特別管理		廃油			
		廃PCB等				
	廃石綿等					
産業廃棄物合計	0	0	0	0.00%		

項目	発生量(t)	再使用量(t)	ストック量(t)	埋立等処理量(t)	有効利用率(%)
建設発生土					

- (注)建設副産物の一つで、建設工事から搬出される土砂であり、廃棄物処理法に規定する廃棄物には該当しません。
 建設発生土には(1)土砂及び専ら土地造成の目的となる土砂に準ずるもの、(2)港湾、河川等の浚渫に伴って生ずる土砂(浚渫土)、その他これに類するものがあります。
 一方、建設工事において発生する建設汚泥は、廃棄物処理法上の産業廃棄物に該当します。
- 網掛けの項目は「環境への負荷の状況(取りまとめ表)」に記載された項目になっています。
 - 表頭の排出量のうち再資源化量については、再資源化を自ら行う量及びリサイクルを目的に処理業者へ委託する量を記入してください。また、再資源化以外の処理量については、処理方法等の実状に合わせて括弧内に内訳を記入してください。
 - 廃棄物における再資源化率については、以下の式から算出してください。

$$\text{再資源化率} = \frac{\text{再資源化量}}{\text{再資源化量} + \text{再資源化以外の処理量} + \text{最終処分量}}$$
 - 表側の分類はあくまでも例です。空欄には、その他排出されている廃棄物の種類を記入してください。
 - 建設発生土における有効利用率については、以下の式から算出してください。

$$\text{有効利用率} = \frac{\text{再使用量} + \text{ストック量}}{\text{発生量}}$$

③ 総排水量及び水使用量

③-1 総排水量

年(年 月 ~ 年 月)

		単位	実績(m ³)	割合(%)
総排水量 (m ³)	公共用水域	河川	m ³	
		湖沼	m ³	
		海域	m ³	
		各種水路	m ³	
		公共用水域 計	m ³	0
	下水道	m ³	0	
総排水量合計			0	100.00

○網掛けの項目は「環境への負荷の状況（取りまとめ表）」に記載された項目になっています。

○再利用、処理等を行っていない雨水の排水については、対象外となります。

③-2 水使用量

年(年 月 ~ 年 月)

		単位	実績(m ³)	割合(%)
水使用量 (m ³)	上水	m ³		
	工業用水	m ³		
	地下水	m ³		
	海水、河川水	m ³		
	雨水	m ³		
水使用量合計		m ³	0	100.00

○網掛けの項目は「環境への負荷の状況（取りまとめ表）」に記載された項目になっています。

○製品の製造において原材料等として投入される水は、⑥物質使用量として把握してください。

○建設現場等で循環的に利用している量は対象外となります。

⑤ エネルギー使用量 (MJ)

年(年 月 ~ 年 月)

		単位	使用量・消費量 (A)	エネルギー量(MJ) (A×B)	割合 (%)	単位発熱量 (B)	
総エネルギー投入量	購入電力(新エネルギー除く)	kWh		0		9.83 (MJ/kWh)	
	建設現場等の購入電力	kWh		0		9.83 (MJ/kWh)	
	化石燃料	灯油	L		0		36.7 (MJ/l)
		建設現場等の灯油	L		0		36.7 (MJ/l)
		A重油	L		0		39.1 (MJ/l)
		都市ガス	Nm ³		0		44.8 (MJ/Nm ³)
		液化天然ガス(LNG)	kg		0		54.6 (MJ/kg)
		液化石油ガス(LPG)	kg		0		50.8 (MJ/kg)
		建設現場等のLPG	kg		0		50.8 (MJ/kg)
		ガソリン	L		0		34.6 (MJ/l)
		建設現場等のガソリン	L		0		34.6 (MJ/l)
		軽油	L		0		37.7 (MJ/l)
		建設現場等のガソリン	L		0		37.7 (MJ/l)
					0		
		化石燃料 計	MJ		0	0.00	
	新エネルギー	太陽光	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
		太陽熱	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
		風力	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
		水力	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
		燃料電池	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
		廃棄物	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
					0		3.6 (MJ/kWh)
		新エネルギー 計	MJ		0	0.00	
	その他	熱供給(蒸気)	MJ		0		
					0		
		その他 計	MJ		0	0.00	
	エネルギー使用量合計		MJ		0	100.00	

○網掛けの項目が「取りまとめ表」にある項目になっています。

○エネルギー量は、燃料使用量・消費量に単位発熱量を乗じて(燃料使用量・消費量×単位発熱量)求めてください。

○上記に該当しない項目で多量に投入しているエネルギーがある場合には、単位発熱量を調べて、空欄を設けて記入してください。

○LPGの消費量を気体(m³)として把握している場合については 1m³=2.07kgとして換算してください。

○製品の製造において原材料等として投入される石油、石炭等は、総物質投入量として把握してください。

⑥ 資源等使用量

年(年 月 ~ 年 月)

		実績(t)	割合(%)
資源等使用量	資源の種類		
		資源使用量 計	0
	循環資源		
		循環資源使用量 計	0
	その他		
		その他 計	0
	資源等使用量合計		0

- 例:資材(資源)の種類
(循環資源も同様)
- ・生コンクリート
 - ・アスファルト・コンクリート
 - ・碎石
 - ・砂
 - ・土砂
 - ・木材
 - ・鋼材(鋼材二次製品含む)
 - ・乳剤
 - ・塗料
 - ・接着剤
 - ・紙(用紙も含まれる)
 - 等
 - その他

- 網掛けの項目は「環境への負荷の状況(取りまとめ表)」に記載された項目になっています。
- まずは主要な物質から把握してください。資源等使用量は、重量(単位はt)で把握してください。
- 製品の製造において原材料等として使用される水や石油等は、資源等使用量として把握してください。
- 事業者内部で循環的に利用(再使用、再生利用、熱回収)している物質は対象外となります。

⑦ 総製品生産量または総商品販売量

※設備工事業等商品販売を伴う場合、その他工場やプラント等を有する建設業者は把握します

年(年 月 ~ 年 月)

		製品等名		単位	実績
		総製品生産量または総商品販売量	製品	重量	
	t				
	t				
	t				
	t				
	製品または商品重量合計		t	0	
環境負荷低減に資する製品または商品	重量			t	
				t	
				t	
			環境負荷低減に資する製品または商品重量合計		t
	重量以外				

- 生産量または販売量のいずれかを把握してください。
- 網掛けの項目は「環境への負荷の状況（取りまとめ表）」に記載された項目になっています。
- 総製品生産量または総商品販売量のいずれかを把握してください。